

信号機の設置・移設に関するワークショップ議事概要

信号機の設置に関する検討状況について ～交通事故の発生状況ほか～

日 時：令和4年(2022年)2月4日(金) 18:30～20:00

会 場：庄内さくら学園中学校 1階 多目的室

出席者：保護者10名、地域関係者10名(発言者欄では“地域”と表記)、学校関係6名

豊中南警察署交通課交通規制係 宮本係長(発言者欄では“警察”と表記)

豊中市都市基盤部交通政策課 相良主幹、奥野交通安全係長(発言者欄では“道路”と表記)

豊中市都市経営部創造改革課 橋本主幹、松原係長

豊中市教育委員会事務局 小野事務局長、(学校教育課)藤崎主幹、柘井

(発言者欄では“教育”と表記)

—豊中南警察署より信号機に関する説明・概要—

- ・全国的な傾向だが、交差点付近で事故が多い。
- ・交差点の事故のうち約7割で信号が設置されているところで重大事故が発生している。
- ・重大ではない事故については、信号機がない方が若干多い傾向となっている。
- ・信号機があることで、安心しすぎることで、信号を守らないことが主な要因と考えている。
- ・全国的に横断歩道のある個所の取り締まりも強化しているところ。

信号機の設置判断基準の主なものは5つ。

- ① 道路に信号を設置できるだけの十分な幅員があるか？
- ② 歩行者の信号待ちができる場所・スペースがあるか？
- ③ 通る車の台数が概ねピーク時300台/時間以上か？
- ④ 隣接する信号機との距離が、概ね150m以上か？
- ⑤ 信号機の柱を配置するスペースがあるか？

- ・A地点について、

隣接する信号機との距離は128mとなっており、先ほどの条件に適合していないものの、通行量が400台と朝と夕方に通行量が多い傾向があり、信号機を設置すべきか、設置しないとすべきか判断が中間的なところにあります。

- ・B地点、C地点について、

これまであった「あいさつロード」が移設されるに伴って、信号の設置の要望を受けましたが、警察としては、増設するのではなく、移設するほうが、安全が図られると現時点では考えています。理由として、街区へ侵入する道路の幅員が狭く、車両が信号により待機している場合、街区へ侵入する車が停滞することとなるため、信号機がないほうが円滑な車両通行が図られると想定されるためです。

その他(仮称)庄内さくら学園においては、信号機だけでなくいろいろな安全対策を豊中市とともに取組んでいきたいと考えているので、市民の方々にもご協力をお願いしたいと考えています。

—以下 A 地点での意見交換—

保護者：

旧庄内幸町図書館の西側の道路は、歩道がなくグリーンの部分も狭く、多数の子どもたちが通行するには不向きと考えるが、警察の考え方は？

警察：

歩道まで設置できる道路の幅がないが、歩行者の通行部分を明確にするという目的で豊中市においてグリーンの色分けをしているもの。一人ぐらいが通れる幅しかなく、雨の日などはさらに厳しい状況と認識している。そういった部分が安全であると断定している訳ではない。

保護者：

信号機がなくとも横断歩道だけでも車は止まるものだから子どもたちも渡れるとのことだが、集団登校を実施し保護者に見守ってくれということか？

警察：

毎日ではないが警察も一定対応はするが、可能であれば市民の方、保護者の方にご協力をお願いしたい。

保護者：

要件のうち信号からの距離が適合しなければ、信号の設置はできないのか？

警察：基準の一部が満たされないからといって、絶対信号機が設置できないという訳ではない。この部分は、特に慎重な検討が必要だと考えている。

保護者：

集団登校を実施しようとしている。列をなして道路を横断する場合、車が横断歩道で停車していると仮定した場合、列の最後の子どもは、渡る時に焦ってしまうのではないかと？信号機は明確なサインなので、そうした状況も生まれないので、子どもの安全を最優先にした考え方で検討してもらいたい。また、登校時は集団登校で、保護者も見守れるかもしれないが、下校時は時間もばらばらで集団下校までは対応できない。

警察：

そういった意見をふまえて検討していきたい。しかし、大阪府内全体の中での検討を行っていく。信号間の距離に関する基準は、そういった議論において、一つの判断要素。

保護者：

豊中市が実施している学校を中心としたまちづくりに協力をしていきたい市民の声を警察関係の方々に届けるために必要であれば、保護者だけでなく、地域も含めた声をあげていく用意がある。

警察：

本日の目的の一つとして、地域の意見を聞いて、検討の一つとすることなので、必ず伝えさせていただく。

教育：

警察から信号機が交通安全上絶対ではないという考え方と信号機を無視するような取締まりを、この地点にずっと警察官を配置することも現実的できないということを保護者、市民にもわかってもらい

たい。

一方、警察には保護者は子どもたちに信号機をわかりやすいサインとして交通安全について指導をするので、信号機を設置して欲しいという考えがある。ということもご理解を求めたかった。

本日の意見交換の概要は、市教育委員会において取りまとめ警察の方へも提供する。

また、これまで学校と保護者、見守り隊の方々と進めてきたが、信号機は地域の方にも大きな影響があるので、自治会の方々にも声をかけさせていただいた。

地域：小さな子どもたちは信号機を頼りに行動していると思う。それより大人のマナーが悪いことが問題。

以前 A の地点の横断歩道では、小学生の事故があったように記憶している。要因は色々だろうが、信号機を設置することにより子どもたちは、ルールを守って行動するので、信号機を設置した方が良いと考える。確認だが、学校の入り口はどこになるのか？

教育：

高学年は、新あいさつロードの中間の地点から校舎へ入る。低学年は、南側道路の中間より西側から校舎へ入る。B の地点は学校給食の搬出入と教職員の駐輪場の出入口がある。あと南部コラボセンターは、新あいさつロードからが主の入り口だが、北側に駐輪場の出入口があり、敷地の東側に駐車場があり、北側から出入口がある。

警察：

千成小でも先ほどの懸念されている状況と同様の事故があった。A の地点については、その箇所より車の交通量が多いという現状をふまえて検討する。

教育：

大人のマナーが悪いという意見があったが、信号機だけに依存しない考え方として大人のマナーの向上について、保護者、地域の方々に何かお願いさせていただけるものはないか？

保護者：

以前庄内幸町図書館の北の部分でも要望しようということだったが、それはどうなったのか？

教育：

数か所の信号機の設置を望むよりも、A 地点での設置に集約している。北側の部分は歩道もない状況なので、横断する部分の道路改良をまずは、市道路部局へ要望している。

保護者：

A の地点はスピードが出ていくところだと感じているので何か対策はないのか？

警察：

速度規制は 30 km/h だが、守られていない。オービスによる取り締まりや速度の出にくい道路の構造などのできる対策を講じていきたい。道路の構造については、市道路部局と協議調整もしていきたい。

保護者：

歩道については段差があり、高齢者が通行しにくい状況があるが、何か対策はないのか？

道路：

車道より高いマウンドアップ方式というものがあり、過去の道路整備はこの形式が主流であったが、

歩道のバリアフリー化が求められており、車道と段差のないセミフラット形式の歩道整備に順次取り組んでいるところ。

保護者：

電柱が歩道上にあり、段差と合わせ通りにくいところがある。改善を求める。

教育：

歩道のバリアフリー化の意見があったが、事前の協議調整の場において、警察からは車のスピードを抑制する手法のひとつとして、スムーズ横断歩道があると聞いているが、そのためにはマウンドアップ方式による歩道が必要との議論もあった。歩道のバリアフリー化と合わせ今後信号機と合わせ調整要素の一つとして情報提供をさせていただく。工事を実施する前には事前に工事説明の場もあるので、今後どうなっていくかを情報提供の機会は道路部局において実施する予定。

保護者：

信号機の種別は押しボタン式の信号か？

警察：

押しボタン式の信号と考えている。

—B、C 地点についての意見交換—

地域：

（商店街と穂積菰江線に設置された信号機を例えて）押しボタン式を押さず信号を守らない人も多く、横断歩道の位置と信号機が変更されたことをふまえ A 地点での信号機の形式について検討をお願いしたい。

B 地点の（仮称）庄内さくら学園側の部分に横断歩道は設置されるのか？

警察：

車両が通行するのであれば必要だが、連続した歩道と整備された場合、横断歩道は必要がなくなる。警察としては連続歩道として欲しいと考えている。

地域：

（豊中市役所前の横断歩道を例に）横断歩道しかなかった場所に事故が発生し、その後、信号機が設置された。事後の対応でなく、事前に慎重な検討をお願いしたい。

地域：

（三国塚口線の関西スーパーとライフ前を例に）押しボタン式の信号機が通常の信号機になった。押しボタン式の場合、ボタンを押さないケースも想定されるので、なるべく押しボタンでない信号機の設置を要望したい。

保護者：

押しボタン式の信号機について、子どもたちはボタンを押すことを楽しみにしているので、心配はないと考える。大人に限った議論だと思う。それより、自転車がすごく危ないと感じている。（特に雨の日など）何か対策は考えられないか？（注意喚起なども含めて）

保護者：

（庄内農協近くの穂積菰江線の交差点を例に）以前自転車は、歩行者用の信号機を遵守するよう作ら

れていたのに変更されて、何でもありの状況となってしまった。何らかの対策を早急にするべき。

道路：

自転車の場合、車道の信号か、歩道の信号かどちらを遵守するか徹底されていない部分がある。
警察と連携・協力しながら安全対策に取り組んでいく。

地域：

大人のマナーが悪い。しかし、警察官がいると改善される。地域の協力によって何か改善されるかどうかについては疑問と感じる。それと、阪急のガード下の部分が暗いので、下校時のルートは考えたほうが良いと思う。

教育：

警察も含め私たち行政機関が四六時中対応することはできないが、あきらめることもできない。市民の方々に無理は言えないが、協力をお願いできることがあればさせていただきたい。

地域：

車道に自転車走るマークが部分的にされている。野田小東側の交差点の信号は明記している。他も同様の対応をすべきでは？

道路：

自転車は車両に属するので、左側通行が原則。道路車道の左端に自転車マークの表示をするなど自転車通行空間の整備を進めている。自転車のマナーの悪さの指摘をいただいているので、今後、警察とも協議しながら対応をしていきたい。

保護者：

障害のある子どもを学校に通わせている。さまざまな障害を持っているかどうか見た目でもわからない子どもたちが、学校に通学している子どもたちがいることを理解していただいた上で、そういった子どもの目線での信号機設置の議論・検討を要望したい。

保護者：

C地点に信号機を設置された場合は、どういった形態になるのか？横断歩道の幅は広いほうが良いと思っている。

警察：

横断歩道の幅は通常4mだが、横断者数に応じた幅を決定したい。信号機の設置が決定した場合、信号機の設置個所も横断者数や動線など実情に即した検討は行いたいと考えている。

保護者：

横断歩道は是非広く計画をして欲しい。

A地点についてスピードの議論もあったが、スピード減少化を目的としたバンプの設置は、あまり安全ではないと思う。できれば工夫としては、車道の幅を狭めることと歩道のたまり場を確保する観点で歩道の幅を広げることも検討していただきたい。

道路：

警察と協議しながら検討させていただきますが、スピードを抑える工夫の仕方は難しい。

保護者：

警察と譲り合わないで両方の施策を合わせて検討して欲しい。

保護者：

議事録を保護者や地域の方に示してもらい。より多くの方の意見を聞いて欲しい。

教育：

学校を通じてとさくら通信を活用して対応する。

保護者：

市のホームページでもお願いします。

保護者：

A 地点は違法駐車も多いので対応をお願いします。